

平成 29 年 10 月 13 日

岡崎市額田会館

14:00～

木づかいガイドライン作成資料について

1 木づかいライブスギダラキャラバン予定について

2 木づかいガイドラインの作成依頼について

前回の文書を発送予定。山村担い手事例集の対象者をはじめ、木づかいガイドライン作成の協力依頼を行う

矢作川流域材を活用していること、矢作川流域と関連性のある主体的な取り組みを収集する

3 木を使った市民参加型プレイスメイキング木づかいライブについて

豊田市駅前ペDESTリアンデッキ

- ① とよたミライ塾 11月18日・19日実施予定(本箱づくり)
- ② あそべるとよたプロジェクト 11月23日～26日実施予定(どこでもライブラリー)

4 事例紹介

- ①花王みんなの森づくり事業
- ②あいちエコ住宅ガイドライン

5 その他

- ①災害に強い森林づくり指針資料(長野県 林務部)
- ②21世紀おかやまの新しい森育成指針(岡山県 農林水産部)
- ③水源林造成事業における針広混交林造成に向けての手引き(森林整備センター)
- ④根羽スギセレクション(根羽村森林組合)

平成 29 年 10 月 5 日

平成 29 年度「木の魅力と楽しさを伝える
木づかいライブ・スギダラキャラバン実績及び予定」

NO	イベント名	開催日	場所	対象者数
1	野底山森林公園 さくら祭り	4/16 9:00~15:00	飯田市 野底山森林公園	300 人
2	オールアイシン家族祭り	4/23 8:00~15:00	刈谷市 アイシン高丘	1,000 人
3	Tフェイスイベント(広場) スーパーキッズディ	5/5 10:00~15:00	豊田市 Tフェイス	300 人
4	うるぎ星の森音楽祭	5/20 12:00~20:00	売木村 うるぎ星の森キ ャンプ場	300 人
5	NHK イベント パパママフェスティバル	5/20・21 9:00~16:00	名古屋市 栄	800 人
6	国際ウッドフェア	5/24~26 10:00~16:00	長野市 ビッグハット	500 人
7	岐阜女子大住居学専攻研修	6/3~4 10:00~16:00	根羽村 森沢 ネバーランド	20 人
8	あそべる豊田プロジェクト	6/3~4 10:00~15:00	豊田市 Tフェイス 西公園	300 人
9	明治用水イベント	6/18 10:00~12:00 2名	安城市 水の環境学習館	20 人
10	職人村イベント	6/25 10:00~15:00	飯田市 風越子どもの森 公園	20 人
11	マルオカ信州住まいのフェア	7/1~2 10:00~15:00	長野市 M ウェーブ	1,000 人
12	大晃建設住まいのフェア	7/17 10:00~15:00	長野市 M ウェーブ	50 人
13	安城市農家民泊	7/26~27 10:00~16:00	根羽村	50 人
14	刈谷市社会福祉法人	7/30 16:00~18:00	根羽村	50 人

15	安城市農家民泊	8/1~2 10:00~16:00	根羽村	50 人
16	アンフォーレ クールチョイスフェス	8/19~20 13:00~20:00 10:00~15:00	安城市 アンフォーレ	1,000 人
17	田舎暮らし博覧会	8/25~26 10:00~16:00	ウインク愛知	500 人
18	明治用水水源の森学習会	8/27 11:00~14:00	根羽村	30 人
19	エコネット安城川遊び	8/27 10:00~15:00	根羽村	50 人
20	安城市根羽小木工作実習	8/29 9:30~12:00	根羽村	20 人
21	矢作川祭り	9/2 10:00~15:00	豊田市 豊田大橋下	500 人
22	平谷村フェスティバル	9/2 9:00~20:00	平谷村 スキー場	500 人
23	西部山麓フェスティバル	9/17 10:00~15:00	伊賀良小	台風で中止
24	動く木のおもちゃ記者発表	9/22 10:00~15:00	愛知教育大学	新聞社 4 社
25	信大農学部祭	9/23 9:00~15:00	信大農学部	300 人
26	総合アウトドアライフスタイル フェス	9/24 10:00~17:00	ポートメッセ ナゴヤ	500 人
27	安城市歴史資料館展示	10/7~8 10:00~16:00	安城市 歴史資料館	600 人
28	BESS 南愛知展示場 「森の恵み DAY」	10/22 10:00~16:00	東海市 ベス南愛知店	
29	三河湾大感謝祭	10/29 10:00~16:00	蒲郡市民会館	
30	南信州森の市	10/29 10:00~16:00	喬木村 木材流通 センター	
31	アイシン 秋の陣	11/4 10:00~15:00	根羽村 ネバーランド	
32	安城市明祥プラザ祭り	11/11~12 10:00~16:00	安城市 明祥プラザ	
33	とよた未来塾	11/18~19 10:00~15:00	豊田市 Tフェイス	

34	あそべる豊田プロジェクト いなかとまちの文化祭	11/23～26 10:00～16:00	豊田市 豊田市駅前広場	
35	エコネット安城おもちゃ展示	12/9～17 10:00～15:00	安城市 秋葉会館	
36	エコネット安城フォーラム	1/27 10:00～15:00	安城市 安城市公民館	
37	安城市桜井公民館祭り	2/3～4 10:00～15:00	安城市 桜井公民館	
38	高浜子供会イベント	2/17 10:00～15:00	高浜市	
39	安城市北部公民館祭り	3/3～4 10:00～15:00	安城市 北部公民館	

注) 赤字のイベント名は「木のおもちゃ」を使用したイベントです
また、今後使用する見込みのイベントです。

ふすまの会館の活動報告

ふすまの会館の活動報告

「木づかいガイドライン」の意図していること

- ① 市民、行政、業界、研究機関の各関係者と有志が流域内の「木づかい推進」に一体感・共感・共通認識を持って取り組むこと
- ② 現在流域内の各地で行われている様々な立場の方の魅力的で楽しい「木づかい」の取りみを見える化すること
- ③ 「見える化」された木づかい推進活動の有志の方々と「人の輪」をつくること。「繋ぐ」ことがとても大切で、ここに流域で取り組む市民活動化の意義がある
- ④ その「人の輪」による様々な化学反応により、流域内の各地で市民に「木づかい」に対する魅力や楽しさを伝え、共感と活動を呼び起こすこと
- ⑤ 木づかい提案者ひとり一人の培ってきた森や木に対する経験値を重視し、提案者とその受け手がチームとなって、木づかいの主役と立役者のコンビで木の魅力を発信していくこと。
- ⑥ 山村担い手事例集にあるような様々な地域の様々な山村・里山活動家が「木づかい推進」というテーマで「繋がり」、それぞれが主役になって「木づかいネット網」として連携し、すべての年代層を対象にした「木づかい」の原体験を与えること
- ⑦ 「木づかいガイドライン」を手に取ると、すぐに行動したくなるような「さあ～しよう」という市民目線に沿った提案とすること
- ⑧ 日本人として木の文化を身近なものにすること

①業界編 根羽村森林組合 矢作川流域で木づかい推進を先導し、幼年時から社会人に至るまで、人生のあらゆる時間と場所で木づかいの場を創造する

NO	区分	作成依頼者	さあ~しよう	想定対象
1	業界	根羽村森林組合	木っころで遊ぼう	ア
2			森を歩いて川で遊ぼう	アイ
3			積木で遊ぼう	イ
4			木はがきを書いてみよう	イ
5			弓矢・木のペンダント・表札を作ろう	イ
6			木の科学実験にチャレンジしよう	イ
7			動く木のおもちゃを楽しもう	イウエオ
8			地下足袋と鉈を購入して、間伐や山仕事をやってみよう	イウエオ
9			様々な木工にチャレンジしよう	イウエオ
10			流域ものさしを作って「私の流域物語」を書いてみよう	イウエオ
11			輪っばづくりにチャレンジしよう	イウエオ
12			木の器を使ったお弁当販売をしてみよう	ウエ
13			林業の搬出現場を見学しよう	ウエオ
14			製材工場を見学しよう	ウエオ
15			地域材の住まいを見学しよう	ウエオ
16			森林をテーマにした研究にチャレンジしよう	エ
17			立木のヤング係数を調べよう	エ
18			物置をセルフビルドしよう	エオ
19			小屋をセルフビルドしよう	エオ
20			里山と都市公園でプレイスメイキング(木の魅力によって人々を笑顔にする場所の力づくりにチャレンジしよう)	エオ
21			地域材の家・建物を訪ねて木の魅力に触れよう	エオ
22			住まいの性能や将来の自分の家を考えてみよう	エオ
23			地域の材で木の家を建ててくれる工務店を訪ねよう	エオ
24			自分の家を地域の木を使って建てよう	エオ

注) 想定対象及び事例

- ・原体験を与えたいメインの年代層 「原体験の大切さは H25 プレーンストーミング」より
- ・ア幼年 イ小・中 ウ高校 エ大学 オ社会人「H26 ライフステージ別アタック」より
- ・様々な事例は H27・28 「木づかいライブ スギダラキャラバン」等の実績より

②市民編 山村担い手事例集からの木づかい推進提案

集	NO	取り上げられた方	想定 さあ~しよう
	1	根羽村森林組合	前記のとおり
	2	ねば杉っこ餅	「根羽のはこいり娘」弁当を楽しもう 自家制しいたけ栽培にチャレンジしよう
	3	根羽村猟友会	木を使って獣を捕獲してみよう
	4	恵南森林組合	地域の森づくりを学ぼう
	5	串原林業	自分たちの力で林業にチャレンジしよう オーダーメイドの山づくりをしよう
	6	NPO 法人 奥矢作森林塾	炭焼き、河川・公園環境整備、古民家リフォーム、里山体験にチャレンジしよう
	7	NPO 法人 福寿の里自然倶楽部	エコツーリズム アライダシ原生林を訪ねよう 教育体験プログラムをつくろう
	8	矢作川水系森林ボランティア協議会	森の健康診断を学び実践しよう
	9	とよた森林学校	これからの森林活用と林業を学び山仕事にチャレンジしよう
	10	とよた森林学校 OB 会	親子で自然観察会に参加してみよう
	11	とよた都市農山村交流ネットワーク	山里の知恵を学ぶ様々な農山村体験にチャレンジしてみよう
I	12	豊森なりわい塾	皆で森林と里山について語り合い、里山生活を実践して現代の百姓を目指そう
	13	(株) M-easy	日本再発信、若者よ田舎を目指そうプロジェクトに参加しよう
	14	旭木の駅プロジェクト	木の駅プロジェクトに参加しよう
	15	千年持続学校	自然エネルギーや大工技術を学びながら住まいをつくろう
	16	おむすび通貨	子ども夢の商店街で木と物々交換してみよう
	17	Green mama	子どもは地域で育てる方針のもと、木育を考えてみよう
	18	農業生産法人 みどりの里	
	19	NPO 法人 中部猟踊会・三州マタギ屋	
	20	岡崎森林組合	森の魅力とそれを発揮させる森づくりの意義を考えよう
	21	おおだの森保護事業者会	おおだの森を皆の力で名勝地にしよう
II	22	木の駅ねばりん実行委員会	木の駅プロジェクトに参加して村のおじいとおばあさんの心と体を温めよう

23	きくの会	木型を使って「からすみ」をつくろう
24	山のハム工房 ゴーバル	炭火でゆっくり乾燥させてサクラの薪でいぶすハムづくりを学ぼう
25	三宅林業	三宅林業の山づくり、木づかいの思想を学ぼう
26	たけうち牧場	ログハウスづくりと地域の景観植栽を学ぼう 価格競争しないフェアトレードを考えよう
27	アンティマキ	野山で採取した草木で染物やリースを作ろう 田舎暮らしを語ろう
28	てくてく農園	木や農産物の「おすそわけ」を考えよう ゲストハウスや空き家活用を考えよう
29	あさひ若者会	ふるさと探訪フィールドワークで地域の魅力を感じてみよう
30	あすけ里山ユースホステル	自然観察イベント・里山活動に参加して田舎の豊かさを感じてみよう
31	新盛里山耕流塾	次世代を担う子どもたちに美しい里山を引き継ごう
32	近藤しいたけ園	原木しいたけ栽培を学び実践してみよう
33	こいけやクリエイト	里山で魅力的な活動をされている方々の様々な情報を入手しよう
34	アグロ・プエルタ	畑で使える東屋づくり考えよう
35	とよたプレーパークの会	子どもが主役の公園をつくろう 中高生によるプレイスメイキングを実行しよう
36	NPO 法人 矢作川森林塾	矢作川の竹林伐採による景観整備と河畔林再生に取り組もう 都市部に都市林をつくろう
37	矢作川水族館	川遊びイベントに参加して川の楽しさを見つけよう
38	じさんじょの会	地域に残っている茅葺屋敷を整備しよう 地域の良さを伝えて移住者を引き寄せよう
39	額田林業クラブ	森林所有者が実践する山づくりと、その次世代と行う地域材活用の事例を学びに行こう
40	宮ザキ園	皆で三河紅茶街道をつくろう
41	東幡豆漁業協同組合	海の恵みや浜辺の暮らしの素晴らしさを体験しよう 山から海へ砂を運ぼう

III	42	佐久島 Oyaoya café もんべまるけ	薪づくり、小屋づくり、野菜も作って自分の力で暮らしてみよう 半農半Xを語ろう
	43	飯伊森林組合平谷事務所	森林施業プランナーの仕事を学ぼう 観光間伐にチャレンジしよう
	44	天下杉	木を使った手品や喜劇の基本を学ぼう 人々の顔を笑顔にするツボを学ぼう
	45	夕立山森林塾	安全で科学的な山仕事の楽しさを学ぼう
	46	おいでん・さんそんセンター	林業を生業にする「半農半林塾」にチャレンジしよう 田舎だから住みたいという社会をつくろう
	47	野外保育とよた 森のたまご	森の中で一日を過ごす「森のようちえん」を様々な場所で展開しよう 子どもも大人も一緒に成長しよう
	48	農村舞台アートプロジェクト実行委員会	豊田市の里山に存在している農村舞台をもっと活用しよう
	49	稲武山里体験推進協議会	自然体験、工芸体験、味覚体験等の魅力的な体験を発掘して、里山の素敵な時間を楽しもう
	50	老人福祉センターぬくもりの里	やさしい美術作戦事業を発展させよう
	51	あさひ森の健康診断	子どもたちと行う地域住民主体の森の健康診断を広めよう 天然林も調査してみよう
	52	あさひ薪づくり研究会	自ら付加価値をつけて薪販売による収入を得よう
	53	有間竹林愛護会	矢作川の河畔の景観を良くし、散策ができる遊歩道をつくろう たけのこ採りにチャレンジしよう
	54	あすけ聞き書き隊	お年寄りに昔の木づかいを聞いてみよう
	55	山里センチメンツ	
	56	しもやま再来るプロジェクト	自転車ラックや関連企画と景観整備で地域の魅力を高めよう
	57	コレカラ商店・コレカラ農園・コレカラご飯	人がやってもらいたいことをやってみよう というライフスタイルで自立しよう
	58	First-hand	国産無垢材の家具と暮らしの道具に会いにいこう 人と木をつなげるプロジェクトを学ぼう
	59	額田木の駅プロジェクト	木の駅プロジェクトで山も地域も元気になろう
	60	日近太鼓	木の打楽器、太鼓をもっと楽しもう

61	烏川ホタル保存会	烏川ホタルの里を皆で管理してホタルを楽しもう
62	岡森フォレストーズ	山の自然や山仕事、山里暮らしの日常明るく歌おう しんどい仕事の中でも楽しくやろうぜソウルを広めよう
63	蒲郡市漁場環境保全協議会	豊かな魚場づくりを山からの視点で考えよう
64	島を美しくつくる会	自然のままにアートの世界の木づかいを考えよう

平成 29 年 月 日

(案)

関係者各位

矢作川流域圏懇談会

山部会座長 蔵治 光一郎

「木づかいガイドライン」等の原稿作成準備について(協力依頼)

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国土交通省豊橋河川事務所所管の「矢作川流域圏懇談会」では、長野県から愛知県に至る矢作川に関連する様々な課題を解決し、流域にすむ私達の暮らしを豊かにするため、平成 22 年度から山、川、海の 3 部会を創設して、市民や各関係者が定期的に集まって検討を進めています。

特に山部会においては、上流域の森林資源を下流域で活用することが、森林整備の推進や水源かん養機能の発揮、地域振興に結びつくことから、「山村担い手育成」、「森づくり」「木づかい推進」をテーマに継続的な活動を展開しています。

そこで今後、矢作川流域内で「山村担い手育成」、「森づくり」、「木づかい推進」活動をより積極的に展開していくきっかけとして、皆様ひとり一人の先進的な取り組み・考え方を「木づかいガイドライン」等として取りまとめ、広く流域市民に紹介していきたいと思えます。

ついては、当趣旨をご理解いただき、下記のとおり原稿作成の準備をしたいと思えますので、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

記

1 事例紹介原稿 別紙のとおり
記入できるところのみ、記入してください

2 提出期限 平成 29 年 月 日までに提出してください(メール可)

3 原稿作成 提出いただいた内容を基本に、後日聞き取りのためお伺いします

〒441-8149
愛知県豊橋市中野町字平西 1-6
国土交通省豊橋河川事務所
担当
TEL 0532-48-8107
FAX 0532-48-8100
Email uno-t85aa@cbr.mlit.go.jp

木づかいガイドライン 「さあ~しよう」のフォーマット (市民編案)

区 分		内 容			
さあ~しようのテーマ					
いつ					
どこで (位置図)					
内 容					
対象者					
対応する者					
面白い点 魅力的なところ					
必要な時間					
必要な金額					
準備するもの					
イメージ (映像)					
お薦めポイントは					
参加者からのレビュー					
対象年齢	衝撃度	神秘度	リピーター率	安全性	ステージ表

木づかいガイドライン 市民編A (案)

NO	内 容	提案者	モニタ ー	場所
1	弓矢づくりにチャレンジしよう	ネバリン	小学生	根羽
2	自分の好きな木のペンダントを作ってみよう	ネバリン	小学生	根羽
3	自分でマイお箸を作ってみよう	ネバリン	小学生	根羽
4	自分のお家の木の表札づくりチャレンジしてみよう	ネバリン	小学生	根羽
5	自分の好きな板をピカピカに磨いて自分だけの宝物にしてみよう	根羽小	大人	根羽
6	自分で薪を作ってドラム缶風呂を沸かし湯につかろう	ネバリン	小学生	根羽
7	木の葉っぱで部屋の匂いをよくしてみよう	根羽小	小学生	マイルーム
8	木のカルタ取りにチャレンジしよう	ネバリン	小学生	原っぱ
9	自分のマイツリーを見つけて名前をつけよう	丹羽	ファミ	恵那
10	いよいよ自分で森づくりにチャレンジしよう (サクラ山・花の山)	伐採者秀美	新婚	根羽
11	木の幹 (マイツリー) にハンモック (どこでもマイウッドデッキも) を吊るして涼しく昼寝してみよう・山の中のコーヒータムを楽しもう	丹羽・ハンモック 2000	ファミ	恵那
12	ツリーハウスに遊びに行こう	豊中建設	ファミ	根羽檜原
13	自分だけの露天風呂と足湯を手に入れよう	ネバリン	女子	根羽檜原
14	自分のお風呂に木を浮かべて香りを楽しもう	根羽小	女子	お風呂
15	日本の代表 50 種の樹木を覚えよう (葉の標本づくりにチャレンジ)	豊田森組	大学生	豊田
16	自然の生き物観察場所の看板を立てよう	豊田森組	小学生	豊田
17	日本人なら木のお風呂のある温泉につかろう (中房温泉)	中房温泉 沖・松井	熟年・ 青年	安曇野
18	チェーンソーアートを学ぼう	ネバリン	青年	根羽
19	色々な木のおもちゃづくりや木工作にチャレンジしよう	ネバリン	父と子	根羽
20	きれいな川で遊ぼう	JTN	小学生	根羽
21	自分だけの滝に道を開けてマイナスイオンを浴びよう	こもれば	女子	根羽
22	木のある公園のウッドデッキで読書しよう (ブックレビューもつくる)	ネバリン	読書人	安城
23	木と森のある素晴らしい大学に遊びに行こう (信州大学農学部ゆりのき)	信・名大生	高校生	信大・名大
24	筏 (ボート) で川下りにチャレンジしてみよう	筏隊・アル	中学生	岡崎・飯田
25	木のお店案内ブックをつくろう・木のアンテナショップに遊びに行こう	沖・松井	お仲間	流域内
26	スギダラチームの輪を広げて全生活空間をスギダラけにしよう	若杉・ 丹羽・今村	木の人	豊田駅・トヨタ 自・アイシング ループ・安城市
27	夜空を見上げ星と森の声聴こう	星と森の人	小学生	根羽森沢
28	木の科学実験で木を良く知ろう・木を使おう・木を楽しもう	根羽小	小学生	エコフルタウン

	輪っば弁当箱づくりにチャレンジしよう		ファミ	根羽
29	自分達で山の木を搬出して地域通貨を手に入れよう	南木	山親父	根羽・豊田
30	自分達で豊田から根羽まで縦走路を整備して休憩小屋を建てよう	山岳会・店	豊田隊	根羽・豊田
31	自分で取り組んだ森の健康診断を活用しよう	矢作川研	豊田人	豊田
33	木の小屋においでよ（中村好文さんと連携）	中村好文	開拓者	遊休農地

木づかいガイドライン 県・市町村編B（案）

NO	内 容	提案者	モニター	場所
1	山主森林経営講座に参加して自分の山を管理の仕方を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
2	森林自然観察リーダー入門講座に参加して自然観察の基本を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
3	間伐ボランティア初級講座に参加してチェーンソーによる間伐を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
4	山主自力間伐講座に参加してチェーンソーを使って自分の山を間伐しよう	豊田森組	豊田人	豊田
5	セミプロ林業作業員養成講座に参加して林業就業者を目指そう	豊田森組	豊田人	豊田
6	森林セミナーに参加して色々な森林を歩きながら森林管理を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
7	矢作川源流の森ウォーキングに参加して源流域の動植物を観察しよう	豊田森組	豊田人	豊田
8	夏休み昆虫観察に参加して森の生き物の生活や不思議さを体験しよう	豊田森組	豊田人	豊田
9	初めての間伐体験に参加して簡単にできる間伐を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
10	森林調査いろいろ学習会に参加して植生・林分・土壌調査の基本を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
11	「木づかい」いろいろ発見に参加して原木きのこの菌打ちを体験しよう	豊田森組	豊田人	豊田
12	森林の草花調べに参加して高原・山地・丘陵の草花を学ぼう	豊田森組	豊田人	豊田
13	間伐してベンチの製作まで全工程を自分達で行い、公共施設に寄付しよう	豊田森組	豊田人	豊田
14	様々な山の助成金制度を活用して自分の山づくりに取り組もう	各森組	森林所有者	豊田他
15	様々な木の家づくりの助成金制度を活用して地元の木で家を建てよう	各県	お施主	各県
16	地元の木を使った住宅見学会に参加して地元の木で家を建てよう	各県・工務店	お施主候補	各県
17	木造公共施設を訪ねて木の使い方を参考にしよう	豊田・根羽・工務店	市町村	豊田・根羽
18	各地で取り組まれている間伐材利用事例を参考に矢作川流域材を活用しよう	各県	市町村	
19	根羽スギの家モデル住宅に体験宿泊して木の家を楽しもう	根羽村	お施主候補	根羽
20	長野県地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう	ネバリン	各NPO	根羽
21	根羽村地域発元気づくり支援金事業に応募して皆のふるさとを作ろう	根羽村	村民	根羽
22	根羽スギ柱材50本無償提供事業を使って有利に根羽スギ住宅を建てよう	根羽	お施主	根羽
23	市町村有林を使って新しい森づくりにチャレンジしよう（伐採・造林一貫産業）	ネバリン	森林所有者	根羽
24	市町村有林を使って子供たちに間伐を教えよう	各森組	小中学生	全市町村

25	皆で憩いの森の木道・木橋づくりにチャレンジしよう	ネバリン	市町村	根羽
26	都市の中心部に緑の憩いの公園を計画してつくろう（豊田市・番外飯田市）	豊田飯田	市町村	豊田・飯田
27	長野県 信州型エコ住宅推進事業 50～80万円の助成を利用しよう	長野県	お施主	長野
28	長野県 信州型住宅リフォーム促進事業 20～50万円の助成を利用しよう	長野県	お施主	長野
29	岐阜県 産直住宅建設支援制度 105,000円相当の木材支給を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
30	岐阜県 ぎふの木で家づくり支援事業 20万円の助成を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
31	岐阜県 ぎふの木で内装木質化支援事業 10万円の助成を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
32	岐阜県 ぎふの木で家づくりローン支援制度 優遇金利による支援を利用しよう	岐阜県	お施主候補	岐阜
33	愛知県 あいち認証材利用促進事業 構造材・造作材等 8,000円/㎡の助成	愛知県	お施主候補	岐阜
34	材料施工分離発注方式で適正な木材製品価格で計画的に建築材料を入手しよう	豊田市	各市町村	豊田

木づかいガイドライン 業界編C（案）

NO	内 容	提案者	モニター	場所
1	君も人生の方針として自然科学や農林業を選択しよう	ネバリン	中・高校生	根羽
2	君も、自分が主役になれるクリエイティブ産業・農林業の担い手になって地域を元気にしよう	ネバリン	信大・名大・岐阜女子大他	根羽
3	君も夢と希望あふれる地元の森林組合職員になって、豊かな自然の中で森づくりと木づかいを楽しもう	ネバリン	山の人	根羽
4	森づくりの達人（森の民）になるために様々な技能を身につけよう	各森組	山の人	全流域
5	森林簿と施業図を使って自分の山を覚えよう	豊田森組	森林所有者	豊田
6	自分の山づくりのプランを建ててみよう（オーダーメイドの山づくり）	ネバリン	秀美	根羽
7	様々な木材の搬出方法を見学しよう	各森組	山の人	全流域
8	山の技能作業手順書をマスターしよう	ネバリン	山の人	根羽
9	自分の山の木がいくらになるか森林施業プランを提出してもらおう	根羽・恵南	山の人	根羽・恵那
10	自然を楽しむ様々なグッズを手に入れて自然の中に飛び出そう	洲崎	女子	豊田
11	国産材の家づくりに実績のある工務店・建築士さんに会いにいこう	お施主	お施主候補	全流域
12	机やイス・家具など一生使える木製品の注文をしよう	阿部建設	ファミ	根羽
13	一生使える机やイス・家具など木製品を家族で製作してみよう	阿部建設	ファミ	根羽
14	魅力ある国産材製品のカタログを入手して木のある暮らしをはじめよう	販路開拓	ファミ	長野
15	森づくりと木づかいに取り組む、知って得して面白い魅力的な方のお話を聞きにいこう	事例集	市民	全流域

16	製材工場の端材を使って小屋づくりをしよう	ネバリン	山の人	根羽
17	住宅建築フェアを見に行こう	ネバリン	お施主候補	開催地
18	東京おもちゃ美術館を見学し児童向け木のおもちゃを研究しよう	ネバリン	保育園	東京
19	ナイス企画 需要創造型イベント・体感ツアー・木の感謝祭に参加しよう	ナイス	市民	豊田
20	ナイス企画 ナイスパワーホーム豊田プレミアムのコンセプトを学ぼう	ナイス	市民	豊田
21	木曽川流域材の家づくりのシステムを学ぼう	ナイス	市町村	豊田
22	オークビレッジ木の時間工作にチャレンジしよう	ネバリン	父と子	根羽
23	木の工作に必要な広葉樹を育成しよう	ネバリン	山の人	全流域
24	スギダラどこでもシリーズで世の中をスギダラけにしよう	ネバリン	市民	全流域

木づかいガイドライン 研究編D (案)

NO	内 容	提案者	モニター	場所
1	地元の大学と地域連携協定を締結して、山村・里山の課題解決に向けて学生と一緒にチャレンジしよう	信大	市町村	根羽
2	持続可能な地域づくりに向けて里山の課題を市民から集めよう	信大	市町村	根羽
3	次世代に向けた森づくりと低コスト造林を確立しよう	信大	山の人	根羽
4	スギ人工林の植物種多様性を評価し、生物多様性保全に留意した森づくりに取り組もう	信大	森林所有者	根羽
5	伐採後に発生するスギ針葉から精油を抽出して商品化に取り組もう	信大	女子	根羽
6	農林一体化事業を支援する地理情報の可視化手法を開発しよう	信大	市町村	根羽
7	山村の聞き書き調査を行い、山村文化を発掘し継承しよう	実践者	対象者	根羽
8	雪害被害林の今後の施業指針を確立しよう	信大	市町村	根羽
9	集落周辺の森林について保残木マーク施業等景観林施業を確立しよう	ネバリン	集落	根羽
10	スギ重ね梁の実用化を実現させよう	ネバリン	工務店	根羽

(参考) 木を使った市民参加型プレースメイキング木づかいライブについて

項 目	内 容
プロジェクト名	大好きな本、皆に読んでもらいたい本をもって集まろう 木のブックボックスによる「まちかどライブラリー」
企画タイプ A	本の交換 持ってきた同じ冊数を交換する
” B	本の寄贈 本を寄贈して「まちかどライブラリー(貸出可)」をつくる
” C	本の販売 自分で値段をつけて販売する(委託あり)
” D	本の紹介 自分の一押し本を人に紹介する(蔵書として持ち帰る)
必須項目	①統一様式でブックレビューをつけること ②木のサイズ統一ブックボックス(背の高さで規格決定)を使うこと ③木のサイズ統一ブックボックス使用により市民参加で設置・撤収が簡易なこと ④世代を超えて木の空間により人の輪がつけられるプレースメイキングであること ⑤木のブックボックスにより個人蔵書が機能的に整理されること
場 所	豊田市駅前 T フェイス前広場またはペDESTリアンデッキ
時 期	11月23～26日(とよたミライ塾参加・あそべるとよたプロジェクトの一環)
予定スタッフ	根羽村森林組合、矢作川流域圏懇談会山部会、本好き市民、地元書店、図書館
ブックボックス	30mm厚スギ板を使用
関連木づかい	どこでも簡易テーブル、どこでも簡易ベンチ、どこでも個人読書イス、ガゼボ、どこでもバンブードーム、どこでもコーヒースタンド、どこでも紙芝居ボックス、どこでもブランコ、どこでもウッドデッキ、なんでもボックス、どこでもオセロ・将棋、囲碁、どこでも人熱コタツ(お湯なし足湯)、動く木のおもちゃ等
新木づかい提案	動きスギ(桁材による長い木のベンチ)、よろい壁、木のプランター 当日、厚さ300mm、幅120mmの板を丸鋸で好きな長さでカット、インパクトドライバでの組み立てブックボックスを組み立てる体験も並行して実施予定
近隣協力関係者(予定)	豊田市図書館破棄処分蔵書、Tフェイス、豊田市矢作川研究所、耕ライフ、豊田市商業観光課、原田屋書店、未来屋書店、くまざわ書店、ヴィレッジヴァンガード、精文館書店

平成 29 年 7 月 6 日

経営戦略シート

1 あなたの今回の目標は何ですか

①今回の未来塾で提供する商品は何ですか

厚さ 30mm・幅 120mm の根羽スギ板を使用したブックボックスの製作・提供

②最終的にあなたの事業がどのようになっていたら成功ですか

「まちかどライブラリー」がいたるところで開催されて、統一規格のブックボックスが数多く豊田市内に広まることです。ブックボックス一体 1,000 円×個数が販売額となります。

③そのためには今回の未来塾で何をもって成功としますか。

統一規格のブックボックスを活用した「まちかどライブラリー」が、それなりきの規模で開催され、今後の発展が見込めれば成功とします。

2 あなたの今回のターゲット、ライバル、協力者は誰ですか

①今回あなたが提供する商品の「価値」は何ですか。

統一規格のブックボックスを用いることで個人の蔵書による人の環ができ、また街中で地元の木が使われるというプレイスメイキングとなること。一人ひとりがブックボックスと蔵書で、個人の個性を前面に出しながら主役として参画できること。

②今回のターゲットはどのような人々ですか。

本好きで蔵書を有効活用しながら、自分と同じ傾向のある方を発見したい方。また、手作りの統一規格によるブックボックスにより蔵書を活用した新しい文化的社会貢献、人の環づくり、図書の整理、自らの手による魅力的な都市空間づくり等を試みたい方

③今回提供する「価値」と同じものを提供するライバルは誰ですか。

恐らく、コンセプト的には全国で展開されている商店街等も巻き込んだ「一箱古本市」が類似しているが、統一規格のブックボックスや他の木のアイテムを併設することで、より積極的に魅力的な都市空間を作る、という点では近隣のライバルはないのではないのでしょうか。図書館や地元書店さんにも積極的に参加していただき、本や木やそれにかかわる方々による魅力的な交流の場を自らの参加で創造したいと思います。



83 厚さ30mmの頑丈な本箱が作れちゃう 根羽スギを使って本箱をつくろう



豊田市民の命の源である「矢作川」。上流域と下流域が結びつくことで健全な森林育成を目指しています。矢作川の水源地である根羽村で育ったスギ板を使って本箱を製作してみませんか？木ねじとインパクトドライバーを使って板を箱型に固定するだけでも簡単な作業です！作った本棚を使って近い将来「どこでもライブラリー」も開催いたしますので、ご自身の本を持ってきて、交換・販売・紹介もしちゃいましょう！きっと素敵な場が広がりますよ♪本箱作りのみのご参加も大歓迎です！

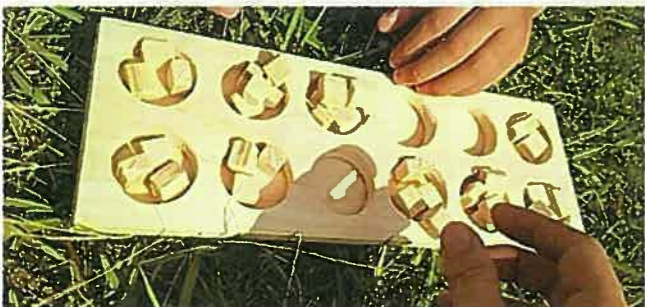
長野県 根羽村森林組合
今村 豊
 この資本主義社会の中、根羽村を夢と希望を持って森林業で生きていける現代の桃源郷にするため奮闘中。

11/18(土)・19(日) 10:00 ~ 15:00

【集 合】豊田市駅前 T-FACE前広場(豊田市若宮町1-57)
 【定 員】各回 20名 【参加費】2,000円(保険料込)
 【備 考】対象:小学生の方は保護者と参加/持ち物:昼食、重手
 本箱の内寸:縦32cm 横50cm 奥行30cm

申込先 WEB とよたまちさとミライ塾公式Webサイト
 問合せ先 長野県 根羽村森林組合 今村 豊 ☎0265-49-2120

85 作って考えて脳までリフレッシュ! とよたの木で木育ゲームボードづくり



豊田市の木を使って自分だけのオリジナルゲームボードを作ります。さて、この木はどこからどのようにやってきたのでしょうか？どうして豊田市産の木なのでしょう？謎を紐解くクイズで楽しく学べます。自分の力だけで木片をどんどんおもちやにしています。作業工程中には、木の香り・感触を確かめながら木の良さを感じましょう。完成したおもちゃでゲームもしましょう。普段電子メディア(テレビ・スマホ・PC・DSなど)で疲労している感覚もリフレッシュしましょう。

木育インストラクター
ちかちゃん(鈴木智香子)
 木育=木を好きになる人を育てる活動を通して子供向けの手作りおもちゃ作りの指導や木育おもちゃの紹介をしています。

11/25(土) 10:00 ~ 11:00 / 11:30 ~ 12:30 / 13:00 ~ 14:00

【集 合】名鉄豊田市駅周辺(詳細はお申し込みいただいた方に個別にご連絡いたします。)
 【定 員】各回 4組(1組2名まで)
 【参加費】2,000円
 【備 考】服装:汚れても良い服、屋外の開催ですので防寒対策をお願いいたします。

申込先 WEB とよたまちさとミライ塾公式Webサイト
 問合せ先 あそび職人 鈴木 ☎090-3454-3955(9:00~17:00)

84 新たにできるまちなか映画館をオープン前にお見せします! まちなか映画館「KITARAシネコン」見学ツアー



豊田市駅東地区で再開発が実施され、商業・高齢者施設・住宅等の複合施設として2017年11月25日(土)オープン予定の「KITARA」に四半世紀振りに復活する「まちなか映画館」の見学ツアーを開催。デジタル映写機や音響装置など普段見られない場所の見学をしていただきます。映画館の裏側を誰よりも早く覗きにいきませんか？

豊田商工会議所
森奥 恭平
 まちづくり・商業関係を中心とした業務にあたっています。
 ※開催当日はKITARAシネコンに携わるイオンエンターテイメント(株)からご担当者の方に来ていただき詳しくご紹介いたします。

11/24(金) 14:00 ~ 15:00

【集 合】豊合館前広場(豊田市西町1-200)
 【定 員】20名
 【参加費】1,000円
 【備 考】対象:中学生以上

申込先 WEB とよたまちさとミライ塾公式Webサイト
 問合せ先 豊田商工会議所 まちづくり振興部 森奥 ☎0565-32-4595(9:00~17:30 土日祝定休)

86 カホン・マリンバ・ピアノで奏でる、とよたの森の音♪ 豊田の木で作るカホンとスペシャルコンサート



ウッドディーラー豊田は、木を楽しむことを伝えます。とよた生まれの木材を使って、南米の打楽器カホンを作ります。できあがったカホンでプロに教わりながらリズムを刻もう♪PUENTEのカホン・マリンバ・ピアノセッションの演奏会では、親子で、恋人同士で、一人でも、参加したみんなで盛り上がりましょう!! 同時開催のとよたウッドトイカーニバルでは、木のおもちゃが全国から大集合!! さあ、一緒にどう?

ウッドディーラー豊田木材コーディネーター
樋口 真明
 大工であり、原木・木材の仕入・製材・加工・流通をコーディネートしています。

PUENTE
 左から
 ピアノ:中垣友季
 カホン:中村新
 マリンバ:間野英里

11/26(日) 10:30 ~ 12:30 / 13:30 ~ 15:30

【集 合】とよた市民活動センター ホール(豊田市若宮町1-57-1 松坂屋豊田店 T-FACE9階)
 【定 員】各回 20組
 【参加費】5,500円(保険料込)
 【備 考】カホンサイズ:330cmx30cmx40cm / 持ち物:カホンを持ち帰るための袋 / 服装:パツパツ

申込先 WEB とよたまちさとミライ塾公式Webサイト
 問合せ先 ウッドディーラー豊田 樋口 ☎090-3560-1879 E-mail: info@wooddealer.jp

花王・みんなの森づくり

活動助成プログラム 2017年応募要項



主催
花王株式会社 / 公益財団法人都市緑化機構



[趣旨・目的]

緑や自然との触れ合いは、子どもたちの豊かな心を育み、人々に安らぎを与えてくれます。

「花王・みんなの森づくり」は、次の世代により良い環境を引き継ぐことを目的に、市民による緑を守り、育てる活動を応援するものです。より良い環境を引き継いでいくためには、緑豊かな環境を創出する環境づくりの活動と、それを育む人づくりの両面が大切であり、こうした活動は長期的な視点で継続することが必要だと考えます。

この助成プログラムでは、「森づくり活動分野」(環境づくり)と、「環境教育活動分野」(人づくり)を2つの柱として、3年間にわたりNPOや市民活動団体を支援してまいります。

Q1. 助成を受けられるのは、どんな団体?

国内で身近な緑を守り、育てる活動(以下、「森づくり活動」)に取り組んでいる団体と、身近な緑を活用し、次世代に緑との触れ合いの機会を創出する活動(以下、「環境教育活動」)に取り組んでいる団体が対象となります。

※団体には、町内会や学校などを含みますが、国や地方公共団体は対象になりません。

※政治団体、宗教団体、営利を目的とした団体は、対象になりません。

※指定管理業務を受託している団体も選考対象となりますが、発注者より支出されるものについては、助成を申請することができません。

Q2. どんな活動が対象になるの?

私たちが生活する身近な場所での市民による「森づくり活動」と「環境教育活動」の2つの分野で、地域社会に寄与するものが対象となります。

- 「森づくり活動分野」では、植樹や樹木の管理、里山や雑木林などでの保全と復元活動など
- 「環境教育活動分野」では、緑地や里山をフィールドとした環境教育活動で、植樹や里山保全活動などを通じて環境を大切にすることを育む活動など

Q3. 助成の対象となる期間は?

2018年3月から2021年3月までの3年間となります。

但し、活動の状況等によっては、2年目以降の助成の継続を中止させていただく場合があります。

Q4. 助成金の上限と助成を受けられる団体の数は?

1団体あたりの助成金の上限は、50万円(1年目)とし、15~20団体程度の助成を予定しています。

※継続団体に対する2年目以降の助成金の上限は、2年目50万円、3年目25万円となります。

Q5. 助成金の使途に決まりはあるの?

「森づくり活動」「環境教育活動」における、活動の持続的発展につながる費用を支援いたします。

- 「森づくり活動」団体については、森づくり活動に必要な次の費用を対象とします。
 - 森づくり活動に必要な苗木、器具、資材などの購入費
 - 団体の関係者以外の専門家(学識経験者など)による森づくり活動の指導等に対する謝金や交通費
 - 専門的な知識や技術を要し、団体で実施することが困難な作業の専門業者への委託費
 - 会員以外の市民等が参加する活動時の活動日を限定した保険料
 - 参加者募集に係わる広報経費や報告用写真代などの事務費
 - 団体の運営上、必要となる経費
- 「環境教育活動」団体については、環境教育活動に必要な次の費用を対象とします。
 - 環境教育活動に必要な苗木、器具、資材などの購入費
 - 会員や団体の関係者以外の専門家(学識経験者など)による環境教育活動の指導等に対する謝金や交通費
 - 子どもたちが参加する活動時の活動日を限定した保険料
 - 活動への参加者募集に係わる広報経費や報告用写真代などの事務費
 - 環境教育活動を行う際の臨時スタッフ(会員以外)に対するアルバイト代や交通費
 - 団体の運営上、必要となる経費
- 注意：いずれの活動も以下の費用は対象となりませんので、ご注意ください。
 - 他の団体への補助(助成)等を目的とした費用
 - 会員のみを対象とした飲食代
 - 会員の労務費、交通費、保険料

応募の条件

- 活動場所の所有形態は問いませんが、申請団体の所有地以外での活動を予定している場合には、活動実施に対する土地所有者からの活動許可(植栽が伴う場合には、植栽する樹木等の帰属を含む)が得られる見通しがあること。
- 他の助成団体からの助成を予定している場合には、他の助成団体からの助成と明確に区分できること。
- 本助成で購入する物品等に助成明示用シール(主催者支給)の貼付が可能であること。
- 本助成の対象となる活動への参加者募集用のチラシや報告書、ホームページ等に、「花王・みんなの森づくり活動助成」の支援を受けての活動であることを明示できること。
- 4~5月に予定する助成目録贈呈式に出席できること。(交通費は主催者が負担いたします)

選考及び結果の通知

- 選考は、専門家や実務経験者で構成する選考委員会において書類選考を行います。
- 選考結果は、全ての申請者に対して、文書にて通知(2018年2月上旬を予定)します。
※選考理由等に関する個別のお問い合わせには応じられませんので、ご了承下さい。

助成実施までの流れ

- 助成内示の通知を受けた団体は、「活動実施計画書」及び土地所有者から活動実施の許可等を得ていることが確認できる書類(以下、「活動許可等の書類」)を提出いただきます。
- 事務局は、「活動実施計画書」及び「活動許可等の書類」の内容を確認した後、文書にて助成決定を通知します。
なお、助成決定した団体の団体名及び活動内容等については、主催者のホームページ、広報誌などで公表します。
※「活動実施計画書」及び「活動許可等の書類」を提出いただけない場合は、助成内示を取り消します。
- 助成決定の通知を受けた団体は、「活動実施計画書」に基づいて活動を実施し、10月中旬に中間報告書、当該年度の活動完了後(3月末)に完了報告書と精算報告書を提出いただきます。
- 事務局は、完了報告書及び精算報告書の内容が「活動実施計画書」の内容と相違がないこと及び、助成金の使途が適切であること等を確認した後、助成金を支払います。(完了・精算報告書の提出後概ね2ヶ月後が目安となります)
※助成金の前払いをご申請いただいた団体には、助成決定している金額の1/2を上限に、助成金を前払いします。
※完了・精算報告書の提出を前倒しすることは可能です。前倒しすることで支払い時期を早めることができます。

応募方法

■応募資料

◎必ず必要な資料(郵送にて提出)

- ・申請書(原本) ※都市緑化機構ホームページよりダウンロード可
- ・活動場所の位置図
- ・現況が確認できる写真

◎その他参考資料(郵送にて提出)

- ・活動の概要や実績のわかる資料
(会則・定款、予算及び決算書、事業計画・報告書、パンフレット、ニュースレター等)

◎可能な限り提出いただきたい資料(e-mail又はCD等を郵送にて提出)

- ・申請書電子データ(MSエクセル)

※ご提出いただきました申請書及び資料については、受付後、返却できませんのでご了承ください。

※当助成プログラムの応募を通じて、皆様からお預かりする個人情報(主催者が厳重に保管し、その使用は当助成プログラムでの選考など、業務上必要な範囲に限定します。また、法令等の定める場合を除き、事前に申請者本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供することはありません。)

■募集期間

2017年8月1日から10月14日(当日消印有効)

■お申込及びお問合せ先

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
公益財団法人 都市緑化機構
「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局
電話:03-5216-7191 FAX:03-5216-7195
e-mail: midori.info@urbangreen.or.jp
https://urbangreen.or.jp

スケジュール

- 2017年
 - ・8月1日: 募集開始
 - ・10月14日: 応募締切り
- 2018年
 - ・2月上旬: 助成内示通知
活動実施計画書提出
 - ・2月下旬: 助成決定通知
 - ・3月1日: 活動開始
 - ・4~5月: 助成目録贈呈式

選考委員

委員長	養 茂 壽太郎	東京農業大学 名誉教授
委員	ジョン・ギャスライト	農学博士・タレント
	須 磨 佳津江	ジャーナリスト
	石 渡 明 美	花王株式会社 執行役員
	金 子 洋 平	コーポレートコミュニケーション部門統括
	宮 下 和 正	花王株式会社 サステナビリティ推進部
		エコ戦略推進グループ部長
		公益財団法人都市緑化機構 専務理事
		(2017.07現在)

2017年「花王・みんなの森づくり活動助成」申請書 **環境教育活動分野**

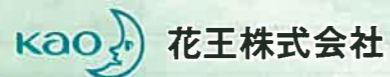
(フリガナ)	
申請団体名	
代表者名	(役職名) (氏名)
主たる事務所	(〒) (住所)
担当者連絡先	(団体名)
	(役職名) (氏名)
	(〒) (住所)
	(TEL) (FAX)
	(E-mail) (携帯) ※緊急時
過去の助成実績	過去に「みんなの森づくり活動助成」を受けたことがありますか。 <input type="checkbox"/> ある、 <input type="checkbox"/> ない 「ある」場合、何年の第何回助成ですか。記入欄：()
団体設立	西暦 年 月 *前身の団体があれば、前身の団体の設立年月
団体の概要	① 団体の設立背景 ② 団体の活動目的 ③ 団体や活動の特徴や、活動に際して心がけていること
理想の姿像	理想の姿像 (理想の社会像、未来の環境の姿、思い描く夢等)
※申請団体のみなさんが思い描く、理想の社会像、未来の環境の姿、思い描く夢をご記入ください	
年間予算	2017年度 収入 _____ 円 支出 _____ 円 2016年度 収入 _____ 円 支出 _____ 円 2015年度 収入 _____ 円 支出 _____ 円
会員・会費	総会員 _____ 人、会費 _____ 円/年、活動(恒常的に活動の運営に関わる)メンバー _____ 人
団体HP	<input type="checkbox"/> 有 (URL: _____) <input type="checkbox"/> 無
(フリガナ)	
プロジェクト名	
プロジェクトの概要	① プロジェクトの目的 ② プロジェクトの内容 ③ 3年間で達成したい目標
※申請する活動の内容がこれまでの継続であっても、助成を申請する3年間の活動について、改めて目標を設定し活動内容を計画してください	

主な活動場所	(名称)		
	(所在地)	(都道府県)	(市区町村) (以下)
	(所有者)	(種別) <input type="checkbox"/> 公共 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他	
	(最寄駅)	線	駅 (最寄駅からの距離) km
取組み体制等	学校教育、専門家等との連携 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ① 学校や専門機関等との連携など、プログラム実施に際しての取組み体制で工夫している点 ※学校や専門機関等との連携など、プログラム実施に際しての取組み体制について		
1年目の活動	対象の概要： <input type="checkbox"/> 未就学児 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 成人 延べ _____ 人/年 1年目の活動内容 ① 1年目の活動内容と目標、プログラムの主な対象(ターゲット) ※1年目に実施する活動の具体的な内容 ※環境教育活動にどのような手法を用いるかご記入ください ② 緑の大切さや魅力を伝える(環境教育)ための工夫、活動の強み		
スケジュール	活 動 内 容	参加者数	活動日数
2018年 3月~6月			
※活動の内容の他、規模が分るよう、参加者数と活動日数を記入してください			
2018年 7月~9月			
※活動の内容の他、規模が分るよう、参加者数と活動日数を記入してください			
2018年 10月~12月			
※活動の内容の他、規模が分るよう、参加者数と活動日数を記入してください			
2019年 1月~3月			
※活動の内容の他、規模が分るよう、参加者数と活動日数を記入してください			

1年目：2018年度(2018年4月-2019年3月)の収支予算案(助成要望金額を含む)

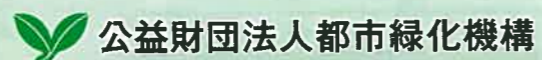
収入	金額(単位円)	備考	
助成要望金額		花王・みんなの森づくり活動助成 助成金(1年目：上限50万円)	
会費等自己資金			
他の助成金等収入			
寄付金収入			
前期繰越			
合計	0		
支出	金額(単位円)	左記のうち助成要望額(単位円)	助成要望金額の根拠となる内訳・単価・数量
樹木・苗木購入費	※ 樹木、苗木などの購入費	※ うち助成要望する額	
草花購入費	※ 花苗、種子などの購入費	※ うち助成要望する額	
器具購入費	※ 複数年にわたって使用する機械、器具類の購入費	※ うち助成要望する額	
器具リース料	※ 大型機械、器具類のリース料	※ うち助成要望する額	
消耗品購入費	※ 申請年度に使用する資材、消耗品などの購入費	※ うち助成要望する額	
保管庫購入費	※ 機械、器具などを保管する保管庫購入費	※ うち助成要望する額 但し、20万円を上限とする	
講習経費	※ 講習会会場費の他、講師に対する謝金や交通費	※ うち助成要望する額	
委託費	※ 専門的な知識や技術等を要する専門業者への委託費	※ うち助成要望する額	
イベント経費	※ 参加者募集経費やバト保険料など	※ うち助成要望する額	
活動報告事務費	※ 報告書作成に係わる写真代などの事務経費	※ うち助成要望する額 但し、5万円を上限とする	
団体運営管理費	※ 団体の運営経費	※ うち助成要望する額 但し、2万円を上限とする	
その他の費用		—	
次期繰越	0	—	
合計	0	0	

2・3年目の活動について	2年目助成要望金額 ￥	円	※ 助成要望金額の上限は、50万円とする	
	3年目助成要望金額 ￥	円	※ 助成要望金額の上限は、25万円とする	
2・3年目の活動内容と目標と必要とする支援について ※ 2・3年目の活動内容が、1年目の継続の内容であっても、1年目の取組み内容をさらに拡充するための計画をご記入ください。	◎ 2・3年目の活動内容と目標			
	◎ 2・3年目に必要とする支援(助成)の内容			
他団体からの支援等 ※ 他団体からの助成や指定管理者としての委託費用等(今回申請する内容との差がわかるよう、支援内容を具体的に記載してください) ※ 申請中、申請予定のものを含む	支援等団体名	支援等金額	支援内容	期間
		円		年 月から 年 月まで
		円		年 月から 年 月まで
		円		年 月から 年 月まで
		円		年 月から 年 月まで
※ 指定管理業務を受託している団体も選考対象となりますが、発注者より支出されるものについては、助成を申請することができません。				
助成を必要とする理由	※ 本助成を必要とする理由と、助成を受けることによる活動の発展性について			
成果の発表や情報発信の計画について	※ 成果の発表や情報発信の計画について、どのような波及効果が期待できるか等			
添付資料	<input type="checkbox"/> 活動場所の位置図(必須) <input type="checkbox"/> 現況が確認できる写真(必須) <input type="checkbox"/> 会則・定款等 <input type="checkbox"/> 2016年度収支決算・事業報告 <input type="checkbox"/> 2017年度収支予算・事業計画 <input type="checkbox"/> その他(資料名： () ・Eメール又はCD等による申請書データ(エクセル)の送信 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし ※可能なかぎり送信願います			
助成金情報入手先	<input type="checkbox"/> 公共団体 <input type="checkbox"/> ボランティア等支援団体情報誌・HP <input type="checkbox"/> 主催者からの案内 <input type="checkbox"/> 主催者HP <input type="checkbox"/> 新聞 () <input type="checkbox"/> 雑誌 (フォーブス) <input type="checkbox"/> その他 ()			



URL : http://www.kao.com/jp/corp_csr/social_activities.html

花王は、豊かな社会の実現とその持続に貢献するために、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマに社会貢献活動に取り組んでいます。



URL : <https://urbangreen.or.jp/>

都市緑化機構は、次世代の子どもたちに緑豊かな環境を引き継いでいくため、市民や企業、そして公共団体等と連携し、身近な緑の保全と創出に取り組んでいます。

●お申込み及びお問い合わせ先●

公益財団法人都市緑化機構「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階 TEL: 03-5216-7191 FAX: 03-5216-7195

E-mail : midori.info@urbangreen.or.jp URL : <https://urbangreen.or.jp/>



まず、みなさんの住宅をチェックしてみましょう

ステップ1

現在お住まいの家、現在の住まい方についてチェックしてみましょう

ステップ2

今後お住まいになりたい家や今後取り組む住まい方についてチェックしてみましょう



■ 是非取り組んでいただきたい事項
■ できれば取り組んでいただきたい事項

現在 今後

快適・健康に暮らすために	■	① 夏に風は良く通りますか。		
	■	② 夏に熱風が吹き込みませんか。		
	■	③ 冬の風は遮られていますか。		
	■	④ 夏の日差しが入り、暑くないですか。		
	■	⑤ 冷暖房による冷やしすぎ、暖めすぎはないですか。		
	■	⑥ 冷暖房の効き具合は良いですか。		
	■	⑦ 壁や天井に結露は発生していませんか。		
	■	⑧ 家が原因でアレルギーなどにかかっていませんか。		
	■	⑨ ダニやカビが発生していませんか。		
	■	⑩ 冷暖房による乾燥により、喉や鼻が痛くないですか。 (室内の湿度は50%~70%の範囲ですか)		

環境負荷の低減	■	① 太陽エネルギーを利用していますか。		
	■	② 光熱費は増えていませんか。		
	■	③ 環境に配慮した建材を使っていますか。		
	■	④ 水道代は増えていませんか。		
	■	⑤ 長持ちするお住まいですか。		
	■	⑥ ライフスタイル、家族構成にあわせて住むことができますか。		
	■	⑦ 高齢者も住みやすいですか。		
	■	⑧ 生ゴミの減量・減容化に努めていますか。		

地域環境との調和	■	① 愛知県内で生産された建材を使っていますか。		
	■	② 庭は緑豊かですか。		
	■	③ 通りからお住まいがきれいに見えますか。		
	■	④ 小鳥などを庭先やバルコニーに見かけますか。		

○はいくつありましたか？
○を1点として、それぞれに集計し、レーダーチャートに記入しましょう。
レーダーチャートが少しでも大きくなるよう努力しましょう。

現在のお住まい・暮らし方

快適・健康に暮らすために

今後のお住まい・暮らし方

快適・健康に暮らすために

今...

地球温暖化や資源の枯渇など、地球環境問題は極めて深刻な状況にあります。実は、私達の身近な暮らしや健康と地球環境問題とは、密接な関係にあります。

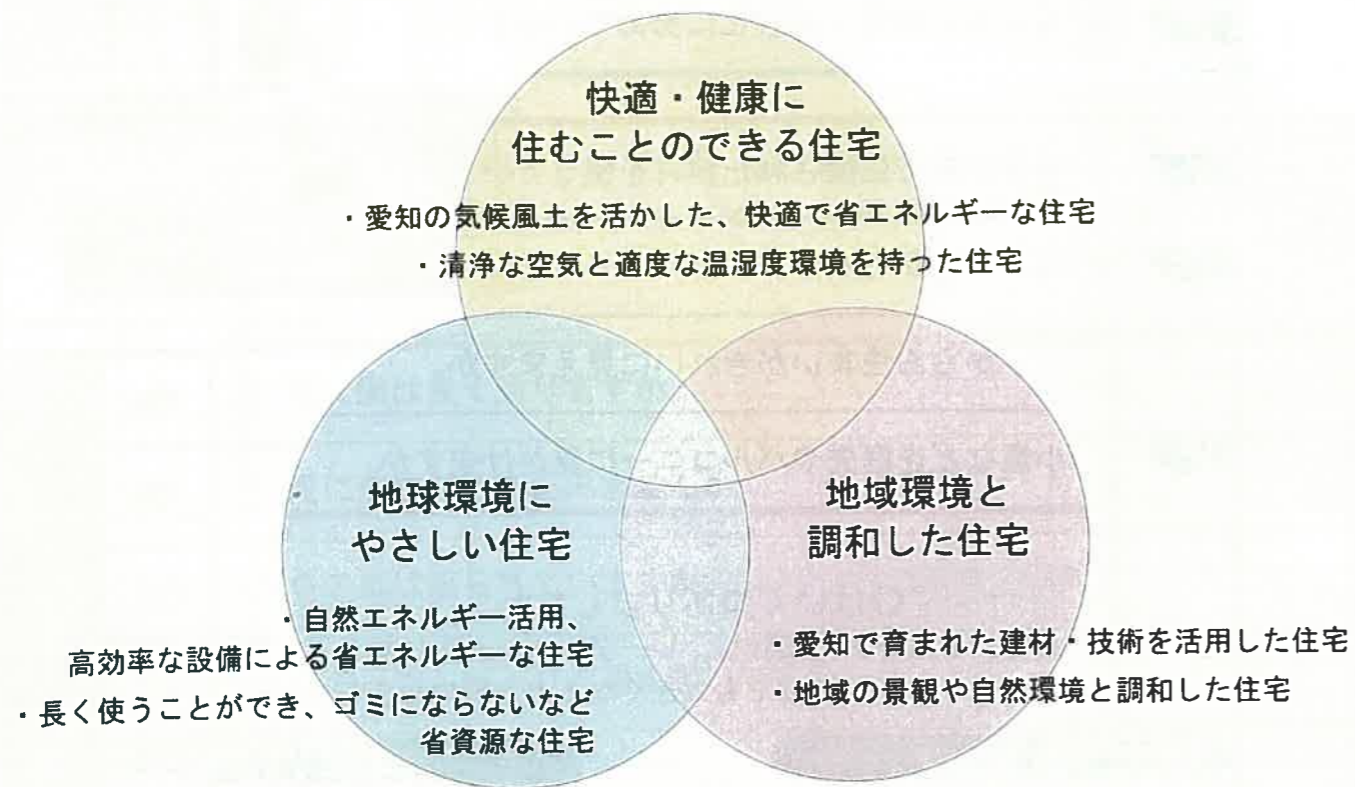
そのため、まちづくりや住宅づくり、住まい方において、地球規模の環境問題に配慮していくことが求められています。

そこで...

県民のみなさんに環境にやさしい住宅の建設、ライフスタイルを実践していただき、地域の子供たちや隣近所のみなさんといっしょに考え、取り組んでいただくことを期待しています。

あいちエコ住宅とは

温暖な愛知の気候風土を活かした、地球と人にやさしい住宅



住宅と住まい方の工夫をしてみましょう

住宅の工夫

温暖な愛知の気候・風土を活かし、住宅のタイプ、立地条件、敷地規模、ライフスタイルなどを考慮し、省エネルギー、省資源で、地域環境と調和した、健康に住むことのできる住宅を実現しましょう。

住まい方の工夫

住まい方の工夫で環境への負荷を減らすことができ、家庭の電気料金やガス料金などの節約にもつながります。そのためには、家の造りをよく知って、家庭内の一人ひとりが住宅とのつきあい方を考えることが重要です。

快適・健康に暮らすために

住宅は、配置計画や間取り、敷地の緑化等を工夫すれば、より快適で健康に住むことができます。

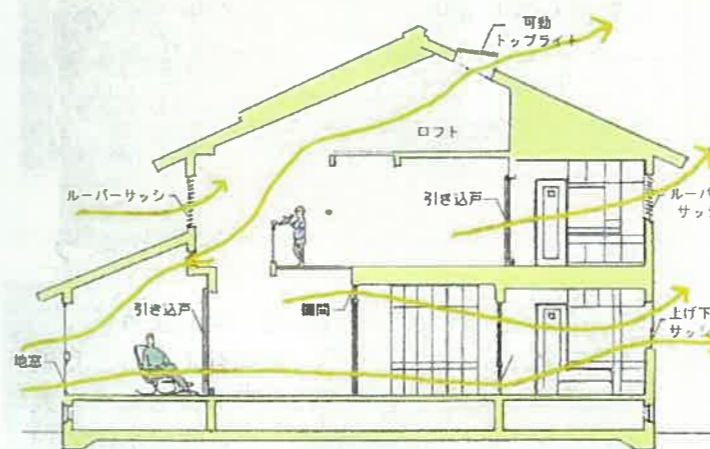
愛知の夏は蒸し暑く、冬は伊吹おろしのために寒い気候風土となっています。季節ごとの日射量や風向きを調査し、夏は日差しを遮り、風通しを良くし、冬は日射量を多く得られるようにしましょう。

アトピーの原因の一つであるダニやカビの発生を防ぐため、湿度のコントロールやこまめな清掃によって、快適で健康的な住まいづくりに取り組んでみましょう。



①～③風通しをコントロールする

地域の風向きや地形などを考慮しながら、建物の形状、配置、間取りを検討しましょう。夏は、風の流れるように工夫しましょう。また、庭に木陰を作るなどして吹く風を涼しくしましょう。冬は、生垣などで愛知県に多い北風をやわらげましょう。



⑤⑥効率的に冷暖房する

部屋の設定温度は、冬は18～20℃、夏は28℃を目安としましょう。冷暖気を逃がさないように、建物の断熱性能や気密性能を高めることが大切です。その場合、通風換気には十分気をつけましょう。

⑧室内の空気汚染を防ぐ

化学物質を使用した建材や家具の使用、防虫剤の過度の使用を控えましょう。こまめな通風換気と清掃も大切です。

④日差しをコントロールする

日射が得られるような建物の配置、形状、窓の位置にしましょう。夏は、庇やすだれ、植物などで日差しを遮りましょう。



つる性植物による壁面緑化

⑦結露の発生を防ぐ

住宅の内外に温度差が発生すると結露が発生します。住宅の断熱は結露の発生を防ぎます。湿度を調整する機能をもつ内装材（調湿性建材）を使うのも良いでしょう。



調湿性建材を使用した家

⑨ダニやカビから体を守る

こまめな通風換気と清掃が大切です。湿度を調整する機能をもつ内装材を使うのも良いでしょう。

⑩過乾燥を防ぐ

室内を50～70%の湿度に維持するために、適切な通風換気を行いましょう。温湿度計を部屋に置いておくと良いでしょう。

環境負荷の低減

手間や経費が余分にかかっても、長い目で見れば経済的に優れたこともたくさんあります。設備機器の使用や住まい方の工夫などによって省エネに取り組みましょう。

また、ゴミを減らしたり、資源を有効に使うことも大切です。

①太陽エネルギーを有効利用しよう

太陽光、太陽熱などの太陽エネルギーは枯渇の心配ないエネルギーです。太陽光発電や太陽熱温水器などがあります。

③環境に配慮した建材を選ぼう

生産・加工や処分時の消費エネルギーが少ない、木、石、土などによる建材を使いましょう。新築・改築時には、リサイクル材や古材などを使いましょう。



丸太の小屋梁のリユース例

⑧生ゴミの減容・減量化を行おう

生活ゴミのリデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化）を行いましょ。生ゴミは堆肥化しましょう。



②エネルギー効率の良い機器を使おう

買い換えの際は、エネルギー効率の良い省エネ型の設備機器を選びましょう。電気スイッチをこまめに消したり、常時使用しない電気製品のコンセントを抜くことも大切です。

④節水、雨水利用をしよう

風呂水の利用や節水型機器の使用などにより、節水に努めましょう。雨水をためて庭の散水などに利用しましょう。



雨水貯留タンク

⑤～⑦住宅を長く使えるようにしよう

耐久性のある材料や工法を選びましょう。維持管理がしやすいように建物を工夫し、定期的に住まいの点検や手入れを行いましょ。最近では、間取りを容易に変更できる住宅も出ています。また、高齢化への対応も大切です。



地域環境との調和

地域には、その地域の自然や風土に根付いた資材や技術、さらには住まい方の工夫があります。愛知らしい地域環境を作っていきましょう。

たのしみながら緑を増やし、敷地の気温や湿度を良くしたり、地域の景観や植生、生態系に配慮しましょう。

①地域材を活用しよう

愛知県には、木、瓦、レンガ、土、タイル、石など全国に誇れる多くの建築資材があります。

地域の伝統技術なども取り入れ、地域の特性を活かした住まいにしてみましょう。



瓦屋根



地域の木材を活用



三和土土間（たたき）



季節風の吹く方向に樹木を配置

②緑を増やそう

緑は快適さを提供するとともに、暑さ寒さを和らげてくれます。樹木や草花、プランターなどによって、ベランダや庭の緑を増やしましょう。



ベランダでの緑化の例

③まちの景観を育てよう

地形や既存の植生を活かして地域と馴染んだ建物にしましょう。ベランダや庭などを生垣や草花で緑化して、美しいまちなみをつくりましょ。



既存の植生を活かした宅地

④地域の生態系を保全・創出しよう

生物が住みやすいように、地域を緑で連続させましょ。庭は土壌や植栽などにより透水性をもたせましょ。水辺の創出も効果があります。

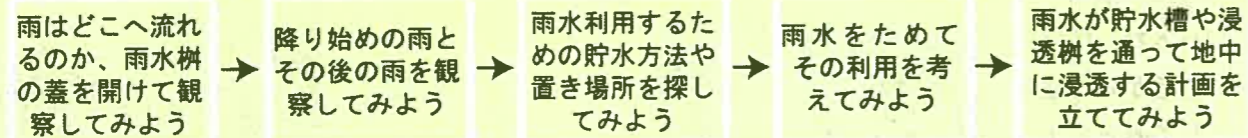
地域環境での取り組み

身近な地域環境を観察・理解し、愛知県という風土に根ざした環境負荷の少ない生活をするために何をすればよいか、どのようにすれば望ましい地域環境が得られるか、たのしみながらいっしょに考えてみましょう。より身近な生活場所から、近隣そして地区へと視野を広げ、それぞれのスケールで現状を把握してみましょう。



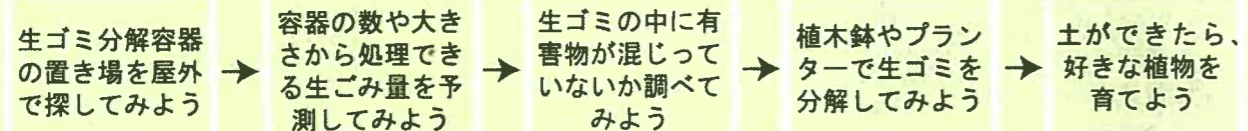
水と地域環境

地中浸透や一時貯留、蒸発散によって、雨水等の流出量・時間をコントロールして、水循環を還元しましょう。



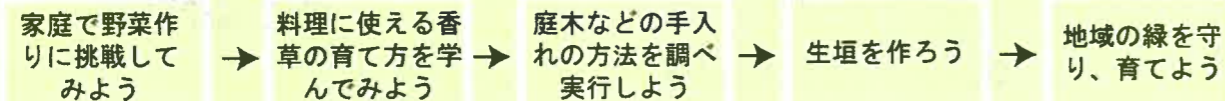
土と地域環境

土壌生態系は有機物の分解に役立つばかりではなく、緑を支え、水の循環にも大きく寄与しています。わずかに残された地面の土づくりから地域環境を見直してみましょう。



緑と地域環境

地域の緑は、二酸化炭素を吸収し、水の蒸散により気温を下げ、風をコントロールします。地域環境との関わりの中で緑を考え、より環境負荷の少ない地域づくりをしましょう。



愛知らしい環境に配慮した住宅、住まい方についてさらに知りたいという方は、あいちエコ住宅ガイドライン（冊子）を、愛知県建設部住宅計画課で無償配布、または愛知県建設部住宅計画課ホームページ（下記参照）で閲覧・印刷・ダウンロードできます。

キャスビー CASBEE® あいち

自然の恵みを受け、自然とともにある建物が

快適で住みやすい地球を生み出す。

CASBEEあいちは、そんな人と地球環境

に配慮した取り組みの評価システムです。



発行
平成15年3月
愛知県建設部建築局住宅計画課
(TEL)052-961-2111(代表)
(e-mail)jutakukeikaku@pref.aichi.lg.jp
(URL)http://www.pref.aichi.jp/



「CASBEE(キャスビー)あいち」は、建物が人と環境にどれだけやさしいかを評価するシステムです。

評価の仕組み

建物の環境品質・性能と環境負荷から導き出される環境効率により評価します。

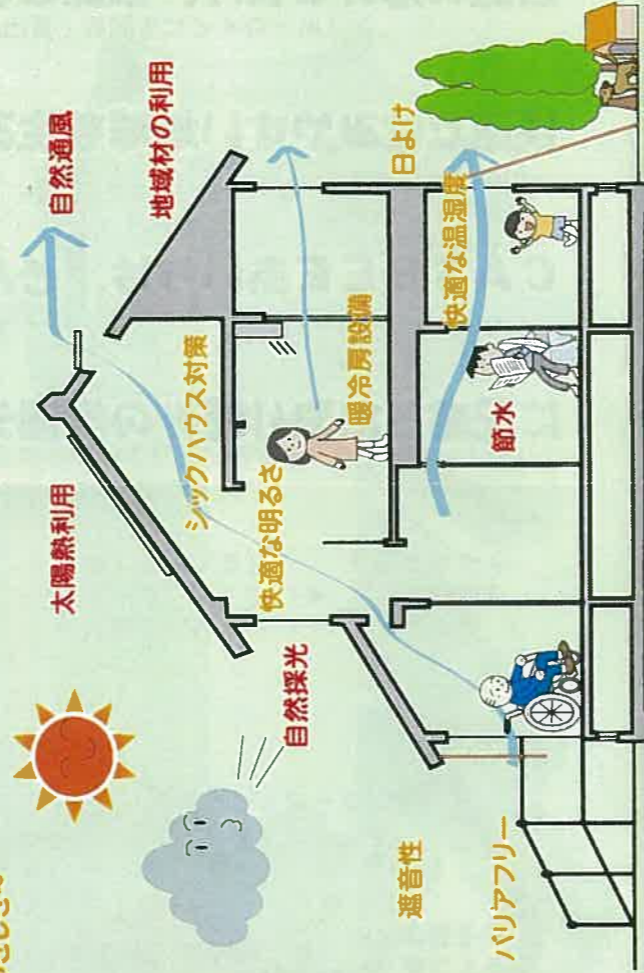
$$\text{建築物の環境効率 BEE} = \frac{\text{環境品質・性能 Q(Quality)}}{\text{環境負荷 L(Load)}}$$

環境負荷が小さく(←)、環境品質が高いほど(→)、評価が高くなります。

評価項目

Q: 環境品質・性能 (Quality) ~人のやさしさ~

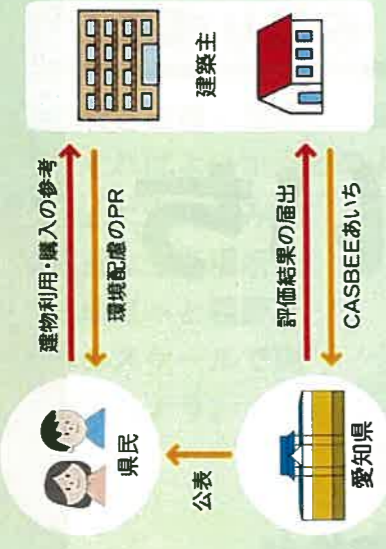
- Q1 室内環境** (室内環境を快適・健康・安心にする)
 - 暑さ・寒さ・明るさなど
- Q2 サービス性能** (長く使い続ける)
 - 広さ・バリアフリー・維持管理のしやすさなど
- Q3 室外環境** (まちなみ・生態系を豊かにする)
 - 緑化・まちなみ 景観への配慮など



L: 環境負荷 (Load) ~環境へのやさしさ~

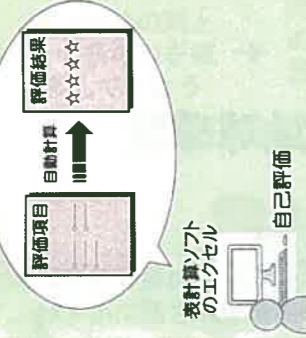
- LR1 エネルギー** (エネルギーと水を大切に使う)
 - 省エネ・自然エネルギーの利用など
- LR2 資源・マテリアル** (資源を大切に使いゴミを減らす)
 - 使用材料・リサイクルなど
- LR3 敷地外環境** (地球・地域・周辺環境に配慮する)
 - 騒音・振動・インフラへの負荷など

建物を「CASBEE(キャスビー)あいち」で評価した結果を、建築物環境配慮計画として県に届出いただく制度です。延べ面積が2,000㎡を超える建物は届出が必要ですが、2,000㎡以下の建物も任意で届出ができます。

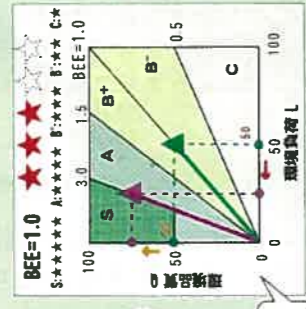


評価のイメージ

「CASBEE(キャスビー)あいち」は、表計算ソフトのエクセルファイルで作られており、評価項目に入力することで結果は自動的に評価されます。戸建住宅用とそれ以外の建築物用の2種類があります。



ランク	評価	ランク表示
S	素晴らしい	★★★★★
A	大変良い	★★★★☆
B+	良い	★★★☆☆
B-	やや劣る	★★☆☆☆
C	劣る	★☆☆☆☆



CASBEEあいち 評価結果シート

「CASBEE(キャスビー)あいち」による評価結果は、下の結果シートとして表示されます。

結果シート 戸建住宅の例

CASBEE あいち [戸建] 評価結果

■使用評価マニュアル CASBEE あいち[戸建] (2011年度版) ■使用評価ソフト CASBEE_OH-NC_2011v1_1.xls

1-1 建物概要 所在地: 〇〇県 竣工年月: 2011年12月 用途: 〇〇部 用途地域: 第4種住居地域 構造: 木造 階数: 地上2階 延床面積: 143㎡ 建築面積: 79㎡ 延床積率: 173% 専任人数: 4人	住居等の認定状況: 予定 建築物の仕様: 持ち込み家電等 外観の仕様: 既定	竣工: 既定 完成: 既定 評価の実行日: 2011年7月29日 作成者: 〇〇 確認日: 2011年7月29日 確認者: 〇〇	1-2 外観
2-1 すまいる環境効率 (BEEラダーチャート) 総合評価: ★★★★★ (S) BEEスコア: 3.0 REF: 1.0	2-2 ライフサイクルCO2削減と配慮 ライフサイクルCO2削減率: 97% 削減率目標: 90% 削減率達成率: 107%	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート) Q1 室内環境を快適・健康・安心にする: 3.6 Q2 長く使い続ける: 3.4 Q3 まちなみ・生態系を豊かにする: 3.7 LR1 エネルギーと水を大切に使う: 4.1 LR2 資源を大切に使いゴミを減らす: 2.7 LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する: 4.1	ライフサイクルCO2 (温暖化影響チャート) 建物を建てる時からのCO2排出量を比較しています。一般的な建物と比べてどのくらい少ないかの目安を示しています。
2-4 中項目の評価 (バーチャート) Q1 室内環境を快適・健康・安心にする: 3.6 Q2 長く使い続ける: 3.4 Q3 まちなみ・生態系を豊かにする: 3.7	LR1 エネルギーと水を大切に使う LR1のスコア: 4.1 目標値: 3.0	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす LR2のスコア: 2.7 目標値: 3.0	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LR3のスコア: 4.1 目標値: 3.0
3 重点項目 ① 地球環境への配慮: 5.0 ② 資源の有効活用: 3.0	③ 敷地内の緑化: 3.0 ④ 地域材の活用: 5.0	緑化面積の比率 緑化面積 / (指定建ぺい率 × 敷地面積) = 32.7%	CASBEEあいち(戸建) 重点項目 特に配慮いただきたい愛知県の4つの重点項目の評価結果をモリゾー・キッコロの数で示しています。

建物概要

住所、構造、階数、延床面積など建物概要を示しています。

すまいる環境効率 (総合評価)

建物の環境性能がSからCまで5段階に格付け、★の数で表されます。

中項目の評価 (バーチャート)

項目ごとの得点が棒グラフで示されます。赤いライン(レベル3)が一般的な取組レベルを示します。

「CASBEE(キャスビー)あいち」の評価ソフト(エクセル)と作成マニュアルは、愛知県住宅計画課のホームページからダウンロードできます。

URL: <http://www.pref.aichi.jp/0000047926.html>

又は、検索サイトに と入力してください。